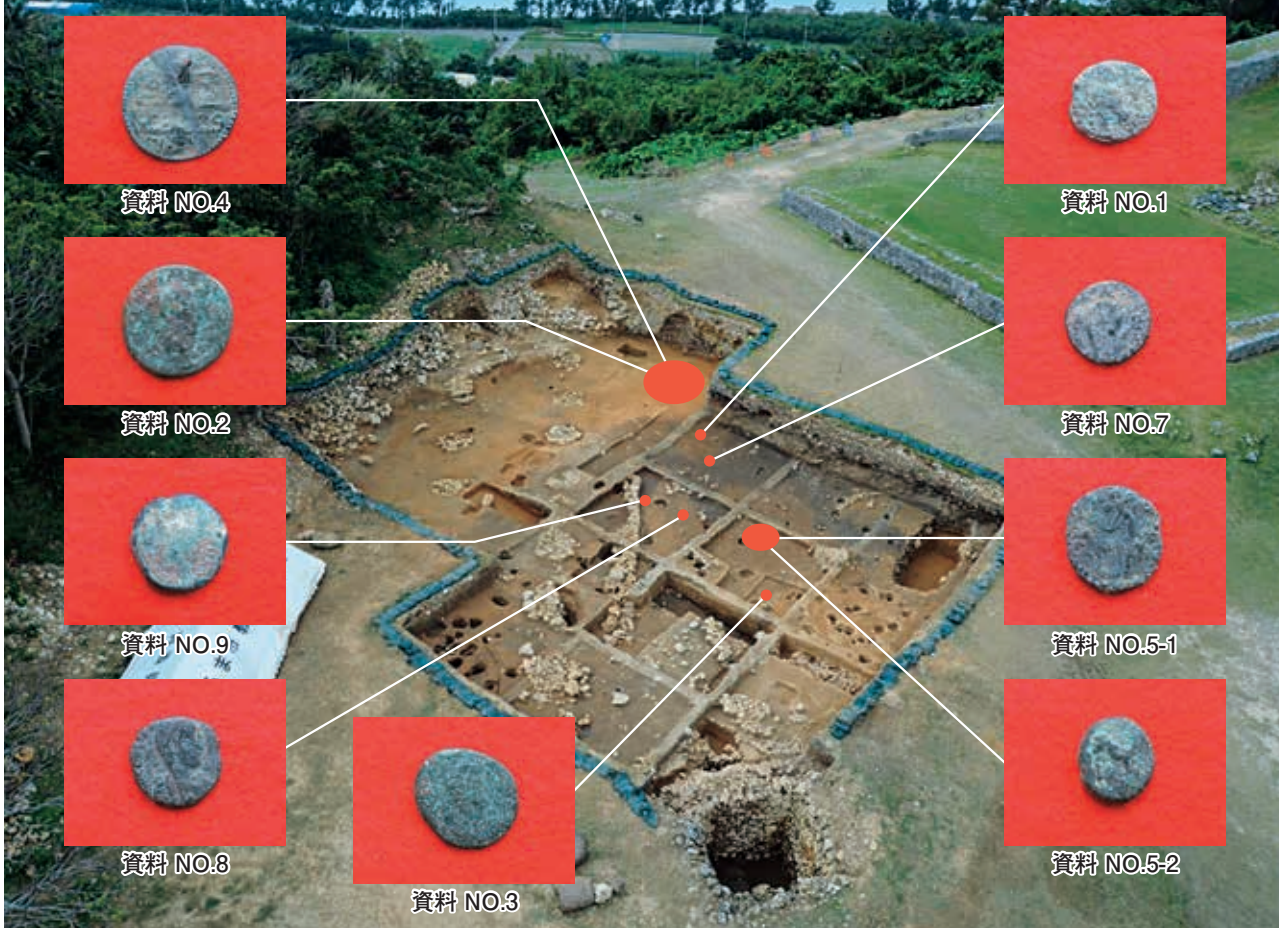


平成25年度 勝連城跡四の曲輪東区 コイン(9点)出土地点図



出土したコインについて

平成25年度に実施した勝連城跡の発掘調査で、合計10枚(城内の地層から9枚、城外から1枚)の丸く小さな金属製品を発見しました。調査で出土した同金属製品を持ち帰り、調査を進めていたところ、4点は4世紀頃のローマ帝国のコイン、1点は17世紀に製造されたオスマン帝国のコインであることが専門家の分析で確認されました。ただし、今後のより細かい分析により、違った結果になる可能性もあります。



【17世紀のオスマン帝国のコイン】

調査し、検討しています。



【4世紀のローマ帝国のコイン】

現在推測できている同5点のコインの製造年代は、どれも勝連城が栄えた12〜15世紀ではないため、それにも関わらず、これらのコインがなぜ勝連城跡にあり、どのようなか、出土した地層や輸入陶磁器などの遺物を調査し、検討しています。

今後の計画

本コインの出土例は、現在まで沖縄県内では知られてなく、おそらく日本国内でも同時代遺跡では初めての発見になるものと思われます。勝連城にかかわる何らかの人物が、西洋世界と接点をもって東アジア世界のどこかで入手した可能性も考えられ、これまで確認されなかった勝連城の交流像を考える上で重要な資料です。琉球史や日本史のみならず、西アジア及び西洋史を含めた世界史研究全般の進展に大きく寄与するものと考えられます。

お知らせ

市立与那城歴史民俗資料館にて開催中の「平成28年度発掘速報展」でこれらの資料を展示しています。多くの方々のご来場をお待ちしています。

【会期】平成28年11月25日まで

【時間】午前9時〜午後5時

※最終入館午後4時30分

【休館】土曜日